地方創生関連事業に関する実績検証資料　【　令和　7　年度　】

担当課・外部検証委員の評価　A:このまま継続　B:改善・見直し　C:廃止・終了

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す

地域再生計画名、事業名	地方創生関連制度名	分野／ページ（未来計画）	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費（単位:円）	総事業費（単位:円）	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証		外部検証委員の検証	
						指標（開始時）	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
「陶器市のまちから通年観光のまちへ」 観光地域づくり計画	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） (1/2国庫補助)		「陶器市のまちから通年観光のまちへ」 観光地域づくり計画の KPIに関する検証　→		6,000,000	①地域における観光消費額 8,712万円 ②観光客満足度 89.0% ③陶器市を除いた平常時の観光客数 186万人 ④外国人観光客宿泊数 129人	①＋107万円 ②＋0.5% ③＋2万人 ④＋30人	①57万円 ②▲0.2% ③17万人 ④543人	A このまま継続	①目標値は達成できなかったが、観光客の町内回遊性を向上させ、滞在時間の延長につながるよう、今後も関係団体と連携し、各種事業を進めていきたい。 ②目標値は達成できなかったが、観光客の満足度が向上するよう、今後も関係事業者等の意識醸成にに努めたい。 ③観光客数が若干減少しているが、地域資源の活用により、伸びしろは大いにあると見込まれることから、資源の発掘・磨き上げ・活用に引き続き注力していきたい。 ④外国人観光客は減少したが、SNS等を活用した各種PR等で積極的に認知度を向上させ、再度、増加に転じさせていきたい。	A このまま継続 5委員	・陶器市の期間以外にも観光客が来るような事業展開を進めていただきたい。 ・①観光消費額の項目別（交通・宿泊・飲食・体験見学・お土産）に集計し、項目別の可能性を検証するとよいのではないか。 ②満足度も何に対しての満足が足りないのか、どうすれば上がるのか詳細な分析が必要なのではないか。 ③施設別（目的別）の増減を把握し、その理由と対策があるとよいのではないか。 ・個人向けの情報発信と併せて、観光業向けのPRなども必要ではないか。また「かさましこ」など日本遺産とのつながりなどもヒントになると思う。 ・各担当者のきめ細かな結果分析とそれに基づく今後の方針から、目標を達成すべく真摯に取り組んでいる姿が想像できる。目先のことではなく先のことを頭に入れて、今後も目的達成のために、努力を重ねてほしい。 ・環境客が減少している中、観光資源の認知度向上のため、デジタル技術を活用し新たなファン層の獲得、交流人口の増加を図り持続可能な観光の推進を図ってください。

地方創生関連事業に関する実績検証資料　【　令和　7　年度　】

担当課・外部検証委員の評価　A：このまま継続　B：改善・見直し　C：廃止・終了

地域再生計画名、事業名	地方創生関連制度名	分野／ページ（未来計画）	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費（単位:円）	総事業費（単位:円）	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証		外部検証委員の検証	
						指標（開始時）	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
前頁に同じ	前頁に同じ	産業／57	【データマーケティング（ニーズ調査）】 観光客の回遊性向上のための仕組みづくり事業 【データマーケティング（ニーズ調査）】 LRTの利用者向けにアンケートを実施し、属性、益子町の認知度、どのような観光資源を巡ってみたいかなどのニーズの深掘りを実施する。その上で、データ分析とマーケティングを行い、町内観光資源の高付加価値化と回遊性が向上する戦略的な施策展開につなげる。 【担当：観光商工課】	■データマーケティング（ニーズ調査） ・アンケート調査（紙媒体・インスタグラムを活用したオンラインアンケート）の実施。人流データも活用しながらデータ分析の実施。 【事業費】1,001,837円 ・データ分析・収集、アンケート事業	前頁に同じ	前頁に同じ	前頁に同じ	前頁に同じ	A このまま継続	紙媒体とオンラインアンケートを実施し、人流データを活用した分析を行った。今後もアンケートの実施・分析を継続していくことで、各種事業の充実に努めたい。	A このまま継続 5委員	・アンケートを検証・分析したデータを今後の各事業に生かしていってほしい。 ・ニーズに対応して今後なにができるかを検討し継続して進めてほしい。 ・今後もオンラインアンケートを実施し、分析を継続して各種事業の充実を図ってください。
同上	同上	産業／57	【回遊コア事業】 ①インバウンド実証ツーリズム事業 インバウンドに強みを持つ町内事業者を中心にしたツーリズム事業（実証実験）を設計・実施していく。事業を通し、旅マエ・旅ナカ・旅アトにおいて欧米外国人がどのような思考の元で情報収集や来訪判断などの行動をしているかについて細かくリサーチを行い、効果的な集客施策や回遊ルート提案のやり方を学ぶ。また、後年度における本格的なツーリズム事業の構築にも繋げていく。また、二次元コード次等を活用した電子マップの作成に際し、ユニバーサル利用を想定した誰にでもにわかりやすいアプリケーションの設計等にも取り組む。 ②インバウンド集客メディアの構築 ①における知見や専門家のアドバイスに基づきながら、集客のためのメディア（多言語webサイトやインバウンド向けSNS）を構築する。 【担当：観光商工課】	■回遊コア事業 ・観光資源の再調査と体験コンテンツ造成。 ・主要オンライン旅行代理店への掲載。 【事業費】3,500,917円 ・オンライン旅行代理店への掲載。自社メディアの構築。	同上	同上	同上	同上	A このまま継続	観光資源の再調査や体験コンテンツの造成、モニターツアーの実施等を行った。引き続きインバウンド受入れに対する機運醸成と体制整備に取り組んでいきたい。	A このまま継続 5委員	・今後もインバウンド受け入れへの事業実施を継続してほしい。 ・インバウンド向けツアー商品設定数×集客数×単価の目標を設定し、そこに向けてPDCAサイクルを回し、頑張ってほしい。 ・他の自治体でうまくいっている事例なども参考にして、より良い方策を考えてほしい。〇〇体験ツアーなどは一般的だが。受け入れの協力者を募ることも必要。 ・効果的な集客施策や回遊ルート提案等を行い、インバウンドの環境を整備して、集客してください

地方創生関連事業に関する実績検証資料　【　令和　7　年度　】

担当課・外部検証委員の評価　A：このまま継続　B：改善・見直し　C：廃止・終了

あ　い　う　え　お　か　き　く　け　こ　さ　し　す

地域再生計画名、事業名	地方創生関連制度名	分野／ページ（未来計画）	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費（単位:円）	総事業費（単位:円）	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証		外部検証委員の検証	
						指標（開始時）	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
前頁に同じ	前頁に同じ	産業／57	【広告・プロモーション】 ①LRTやバス事業者と連携し、冊子の作成・中づり広告等のプロモーションを実施。 ②ターゲットとして設定した「全く益子に来訪したことがない新規顧客層」に向けてInstagramを中心に各SNSでの広告を実施。 【担当：観光商工課】	■広告・プロモーション ・インスタグラムの投稿を中心としたSNSの広告展開、公式観光インスタグラムの運用による発信力の強化 【事業費】1,509,291円 ・SNS投稿用取材経費	前頁に同じ	前頁に同じ	前頁に同じ	前頁に同じ	A このまま継続	インスタグラムの投稿については、町内の観光事業者等の情報収集を積極的に行い、併せて発信力の強化をさらに図っていきたい。	A このまま継続 5委員	・SNS発信の影響力を活かしていろんな客層を呼び込んでいただきたい。 ・インスタグラムの活用により町内観光の発信力強化してください。
益子町 起業支援施設「チャレンジショップ」整備計画	地方創生拠点整備交付金 (1/2国庫補助) および 備品購入は 地方創生推進交付金 (1/2国庫補助)	産業／52	【益子町 起業支援施設「チャレンジショップ」整備事業】 ・最初から独立店舗での開業が難しい事業者に対し、町所有の建物を改修し、低額な家賃で2年間貸し出すことにより、起業・経営ノウハウを習得し、賃借期間終了後に町内空き店舗等にて独立開業する事業者を育成し、空き店舗の活用、商店街の活性化 、事業者の定住を図る。 【担当：観光商工課】	■チャレンジショップ運営 【事業費】16,200円 賃借料	16,200	①本施設整備・稼働後の空き店舗の年間利用件数 0件 ②本事業利用者の起業支援補助金利用件数 0件 ③本施設利用者の町内での独立開業件数 0件	①10件（累計） ②3件（累計） ③2件（累計）	①8件 ②1件 ③1件	A このまま継続	①コロナ禍だったR3～R4は目標値である4件を下回り2件だったが、R5～R7は目標値（各年度2件）を達成できた。 ②現在のチャレンジショップ利用者が最終年度の2年目となっており、開業後の補助金活用を目指している段階のため、昨年度からの積み上げは無しであった。 ③現在のチャレンジショップ利用者が最終年度の2年目となっており、今後独立開業を目指す予定となっているため、昨年度からの積み上げは無しであった。 現利用者の町内独立開業に向け支援するとともに、制度の周知を図っていく。	A このまま継続 5委員	・今後も町内で起業・開業を希望される方に支援を続けていただきたい。

地方創生関連事業に関する実績検証資料　【　令和　7　年度　】

担当課・外部検証委員の評価　A：このまま継続　B：改善・見直し　C：廃止・終了

地域再生計画名、事業名	地方創生関連制度名	分野／ページ（未来計画）	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費（単位:円）	総事業費（単位:円）	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証		外部検証委員の検証	
						指標（開始時）	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
避難所の生活改善事業	新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）（1/2国庫補助）	暮らし／46	避難所の環境整備として、軽トラックに車載できる移動式トイレと組立式のシャワーセットを購入し、避難者に個室空間を提供することにより、避難者のストレスの軽減に資する。また、避難所の停電対策としてポータブル電源を購入し、避難所の安全管理と快適性向上を図る。なお、平時は陶器市などの観光イベント等に使用するほか、近隣市町との災害時の相互利用も可能とする。 【担当：総務課】	■避難所に設置する資機材の購入 ○車載トイレ３台 ○組立式シャワーセット1組 ○ポータブル電源10台 【事業費】10,032,990円 資機材購入費	10,032,990	①車載トイレの配備件数 0台 ②組立式シャワーセットの配備件数 －　組 ③交付金事業で購入した資機材の町内イベントでの利用回数 －　回/年 ④災害・防災についての町ホームページへのアクセス数 1,853件/年 ⑤防災訓練への自治会参加率 100％	①3台（累計） ②1組（累計） ③2回/年 ④2,000件/年 ⑤100％	①3台（累計） ②1組（累計） ③2回/年 ④1,334件/年 ⑤0％	A このまま継続	①避難所におけるプライバシー確保や衛生環境の向上につながる資機材として、整備を図った。 今後も、適切な維持管理及び運用管理に努めていく。 ②避難生活の衛生環境改善及び避難者負担の軽減につながる整備を図った。 今後も、適切な維持管理及び運用管理に努めていく。 ③ポータブル電源については、町内イベントで2回活用し、資機材の運用確認や管理状況の把握につながった。 今後も、防災訓練や地域イベント等で活用を図っていく。 ④ホームページへのアクセス数は目標値には届かなかった。 今後も、掲載内容の充実やわかりやすい情報発信に努めるとともに、防災意識の向上につながる周知啓発を継続していく。 ⑤今年度の防災訓練は、栃木県との合同による状況付与型図上訓練として実施したため、自治会参加による訓練は行わず、参加率は0％となった。 今後は、自治会と連携した実践的な防災訓練の実施に努めていく。	A このまま継続 5委員	・災害時のトイレやシャワーなどの整備は重要である。今後も災害時の衛生環境の向上に期待する。 ・過去の災害の事例や現状で想定される災害危険度を考慮して、効果のある装備を進めてほしい。 ・災害はいつ起こるかは分かりませんが、常に災害に対して備えて置く必要があります。避難所に設置する資材の購入等また平常時の活用等は非常に良いことです。

地方創生関連事業に関する実績検証資料　【　令和　7　年度　】

担当課・外部検証委員の評価　A：このまま継続　B：改善・見直し　C：廃止・終了

地域再生計画名、事業名	地方創生関連制度名	分野／ページ（未来計画）	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費（単位:円）	総事業費（単位:円）	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証		外部検証委員の検証	
						指標（開始時）	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
	デジタル田園都市国家構想交付金（1/2国庫補助）	資産形成/83	【ましこデジタルファースト推進事業】 本事業では、電子申請システムに、マイナンバーカードによる電子認証やキャッシュレス決済機能を連携させ、行政手続きの電子申請を実現させる。加えて、SNSによる情報発信やチャットボット機能により、適切に電子申請フォームへの誘導を促し、多くの手続きのデジタル完結を推進する。 【担当課：総合政策課】	■デジタルファースト推進事業 【総合政策課】 「LoGoフォーム」を積極的に活用している部署、あまり活用していない部署と使用頻度に温度差がある状況である。少しずつではあるがツールが使いやすいこともあり、これまで紙ベースで行っていたアンケートや出欠報告などに関してオンラインでの回答報告する形式に切り替えた部署が増えきた。 電子認証及びキャッシュレス決済を実装しているが、コンビニでの証明書交付サービスを利用する町民が多いこともあり利用件数はなかった。 【事業費】4,446,200円 ・CDO補佐官業務　4,400,000円 ・Zoomライセンス　46,200円 委託費、使用料及び賃借料	4,446,200	電子申請手続き数（件） 電子申請による申請数(件) キャッシュレスサービス利用件数(件) 町公式LINEアカウントの登録数(件) 電子申請利用満足度（%） 電子化手続きにおける電子申請利用割合（%） キャッシュレス利用満足度（%） 町公式LINEアカウントの満足度（%）	130 14300 300 450 70 50 70 70	259 6487 0 1373 0 58.0 0 0	A このまま継続	【総合政策課】 交付金事業としての財源措置は最終年度となるが、町民サービス向上のためLoGoフォームの活用は継続していく。	A このまま継続 5委員	・町民サービス向上のため継続がよい。 ・活用頻度が今後どんどん増えると思うので、高齢者を取り残さない丁寧な支援策を併せて考えていただきたい。 ・交付金事業としての財政処置は最終年度となるとのことですが、今後もLoGoフォームの活用をおこない町民サービス向上、業務の効率化を図ってください。
	デジタル田園都市国家構想交付金（1/2国庫補助）	資産形成/83	【AI-OCR・RPAを活用した行政サービス向上事業】 本事業では、窓口業務において職員が行っている事務処理時間を短縮させ、町民に対して迅速な行政サービスを提供するためAI-OCR・RPAを活用し、事務処理の自動化・効率化を図り、行政サービスの迅速な提供を実現する。 【担当課：総合政策課】	■AI-OCR・RPAを活用した行政サービス向上事業 【総合政策課】 R6に2業務選定し実装したが、TASKシステム標準化の影響によりRPAが一部動作不良となった。また、別業務においてAI-OCR導入までできたが、RPAへの活用展開まで至らなかった。 【事業費】1,287,000円 ・RPA利用料　627,000円 ・AI-OCR利用料　660,000円 使用料及び賃借料	1,287,000	実装業務数（業務） 処理件数(件) 短縮時間(時間) 行政サービス提供にかかる時間・日数削減率(%) 職員に対する住民満足度（%）	3 13000 7845 30 84	0 70 0 0 83.9	B 改善・見直し	【総合政策課】 昨年度実装できていた2業務で作成したRPAが一部動作不良となり、処理件数や時間短縮の指標が達成できなかった。次年度において、職員でも内製化しやすいRPAへの切替により活用を図っていく。	B 改善・見直し 5委員	・行政サービス向上のため、利用しやすいシステム改良を期待する。 ・AI-OCR・RPAを活用した行政サービスは町民・職員にとって非常に効率化が図れると考えます。職員の内製化しやすいRPAの切り替えを円滑に推進してください。

地方創生関連事業に関する実績検証資料　【　令和　7　年度　】

担当課・外部検証委員の評価　A：このまま継続　B：改善・見直し　C：廃止・終了

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す

地域再生計画名、事業名	地方創生関連制度名	分野／ページ（未来計画）	個別事業の概要	本年度の内容・実績及び事業費（単位:円）	総事業費（単位:円）	重要業績評価指標(KPI)			担当課の検証		外部検証委員の検証	
						指標（開始時）	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
	新しい地方経済・生活環境創生交付金（1/2国庫補助）	産業/50	【デジタル地域通貨を活用した地域経済活性化事業】 本事業では、本町が直面する少子高齢化による経済低迷・地域の活力低下という課題に対し、デジタル地域通貨基盤を導入することで、地域経済活性化や住民同士の連携強化（コミュニティ活性化）・観光の魅力向上を実現する。従来、紙で運用してきた各種ポイント事業・プレミアム商品券事業をスマートフォンアプリに統合し、デジタル化することで利便性を高め、デジタル地域通貨の利用促進・普及定着を図る。また本事業により収集が可能になる利用者属性や決済データを活用・分析することで、データに基づく更なる産業活性施策の検討を行い、EBPMを推進する。 【担当課：観光商工課】	■デジタル地域通貨を活用した地域経済活性化事業 【観光商工課】 デジタル地域通貨のアプリ化を図るためシステムベンダーと業務委託契約を締結し、より親しみやすいインターフェイスの構築などを行った。 【事業費】 デジタル地域通貨システム構築業務委託料　16,038,000円	16,038,000	デジタル地域通貨を利用することができる店舗数（店舗） デジタル地域通貨サービスの登録者数（人） デジタル地域通貨の発行額（ポイント） 電子申請対応手続き数（件） デジタル地域通貨事業に満足する町民の割合（%） デジタル地域通貨事業に満足する店舗事業者の割合（%） 売上金が上昇した加盟店の割合（%）	60 1000 6000万 0 60 60 50	100 3678 9785万 0 － － －	A このまま継続	【観光商工課】 店舗数や登録者数、発行額については順調なスタートを切れたため、更なる拡大を図っていきたい。 今後は行政サービスとの連携を図りつつ、町民をはじめ様々なユーザーにとってデジタルデバイド対策になるようなサービスを構築していきたい。	A このまま継続 5委員	・デジタルに弱い世代や障害者などへの対応策も十分に講じながら継続していただきたい。 ・登録者数が増加しているのはよい傾向である。これも高齢者が使いこなせるような配慮をお願いしたい。登録者数を増やすために、ポイントアップなどのメリットを、もっとPRしてもよいのではないか。 ・店舗数、登録者、発行金額は本年度目標をクリアーし順調な滑り出しで良かったです。今後も店舗数の充実と、登録者数の拡大を図ってください。

地方創生関連事業に関する実績検証資料　【　令和　7　年度　】

担当課・外部検証委員の評価　A：このまま継続　B：改善・見直し　C：廃止・終了

あ 地域再生計画名、事業名	い 地方創生関連制度名	う 分野／ページ（未来計画）	え 個別事業の概要	お 本年度の内容・実績及び事業費（単位:円）	か 総事業費（単位:円）	き 重要業績評価指標(KPI)	く	け	こ 担当課の検証		さ 外部検証委員の検証	
						指標（開始時）	本年度目標値	本年度実績値	評価	KPI・実績に対する見解と今後の方針	評価	主な意見
	デジタル田園都市国家構想交付金（1/2国庫補助）	資産形成/83	【移住促進ワンストップサイトDX事業】 本事業では、移住希望者への情報提供や利便性向上を目的に、空き家バンクHPへVR内見機能を導入、スマートフォン等での閲覧の最適化、オンライン移住相談機能の導入を実施する。あわせてWEB広告を展開し、益子町への移住定住をDX活用により一層促進を図る。 【担当課：観光商工課】	■移住促進ワンストップサイトDX事業 【観光商工課】 前年度実施した移住促進ワンストップサイトのリニューアルや空き家バンクVRコンテンツ導入に向けた取組によるサイトの視認性向上を進めた。一方で、SNS広告縮小や旧サイトからの移管等の影響によりアクセス数は伸び悩み、移住相談件数や空き家バンク成約件数も目標には至らなかった。また、VRコンテンツについては、制作に専門的知識や多くの作業時間を要することに加え、物件成約までの期間が短く、掲載数の拡充に課題が残った。	0	空き家バンクページへのアクセス件数（件） 移住促進WEBサイトのアクセス件数（件） 空き家バンクVRコンテンツ（件） オンライン移住相談予約件数(件) 移住相談件数（件） 空き家バンクの成約件数（件） 空き家バンクVRコンテンツへの満足度（%）	18,000 11,000 10 20 230 28 75	13,703 7,700 0 2 177 9 87	B 改善・見直し	【観光商工課】 今後は、空き家バンク物件の掘り起こしや所有者への登録勧奨を進めるとともに、VR導入による物件情報の充実を図り、物件の魅力向上につなげていく。また、SNS広告や移住相談会等を活用した情報発信を強化し、移住促進WEBサイトや空き家バンクへの誘導を促進する。加えて、サイトコンテンツの充実や更新頻度の向上を図るほか、申請手続きや登録事務の効率化、関係事業者との連携強化により、空き家バンクの登録件数及び成約件数の増加を目指していく。	B 改善・見直し 5委員	・デジタルをうまく活用しながら、移住定住促進を図っていただきたい。 ・空き家バンクの登録件数及び成約件数の増加を目指し、あらゆる手段を活用して推進してください。